

(Partial Translation)

JP-U H04-135181

Title of the Invention

A FIXING MECHANISM OF A CONNECTOR HOOD FOR A CABLE

Abstract

[Object] To permit a high-density mounting by reducing a mounting space of a connector hood for a cable, to eliminate the need of mounting tool, and to improve operability.

[Structure] A connector hood 1 for a cable is inserted into connector insertion openings 8a and 8b, and a cable connecting connector 2 is connected with an I/O connector 5. With connector mounting panels 7a and 7b being slid in directions opposite to each other, a protruding portion 9a of the connector insertion opening 8a and a protruding portion 9b of the connector insertion opening 8b are fitted in a fitting hole 3a of the connector hood 1 for the cable and in a fitting hole 3b of the connector hood 1 for the cable, respectively.

(10) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-135181

(13) 公開日 平成4年(1992)12月16日

(51) Inv.Cl.^b
H 01 R 13/74識別記号 庁内被理番号
D 8832-5E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 汎求項の数1(全2頁)

(21) 出願番号 実開平3-51051

(22) 出願日 平成3年(1991)6月6日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 考案者 西山 錠明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

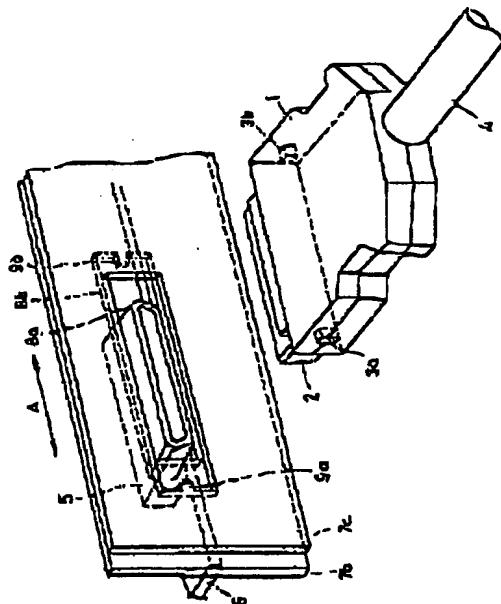
(73) 代理人 弁理士 ▲柳川 信

(54) 【考案の名称】 ケーブル用コネクタフードの固定機構

(57) 【要約】

【目的】 ケーブル用コネクタフードの取付けベースを少なくして高密度実装を可能とし、取付け工具を不要とともに、作業性を向上させる。

【構成】 ケーブル用コネクタフード1をコネクタ挿入口8a, 8bに挿入し、ケーブル接続用コネクタ2と「ノコネクタ5とを接続する。コネクタ取付けバネル7a, 7bが互いに対向する方向にスライドさせ、コネクタ挿入口8aの突起部9aをケーブル用コネクタフード1の嵌合穴3aに、コネクタ挿入口8bの突起部9bをケーブル用コネクタフード1の底合穴3bに大きめに嵌合させる。



1

【実川新幹線建設の範囲】

【請求項1】 配線基板に設けられた入出力コネクタに挿入されて接続されるケーブル用コネクタを板載するケーブル用コネクタフードの固定機構であつて、各々前記ケーブル用コネクタの挿入口を有し、互いに操作自在に嵌ね合せた第1および第2のパネルと、前記第1のパネルの前記挿入口の一辺に設けられた第1の突起部材と、前記第2のパネルの前記挿入口の前記一辺に対向する他辺に設けられた第2の突起部材と、前記入出力コネクタに接続された前記ケーブル用コネクタの前記ケーブル用コネクタフードの前記第1および第2の突起部材に対応する位置に設けられ、前記第1および第2のパネルの挿動によって夫々前記ケーブル用コネクタフード側に移動

する前記第1および第2の突起部材各々を嵌合する第1および第2の底合穴とを有することを特徴とする固定機構。

【歯の簡単な説明】

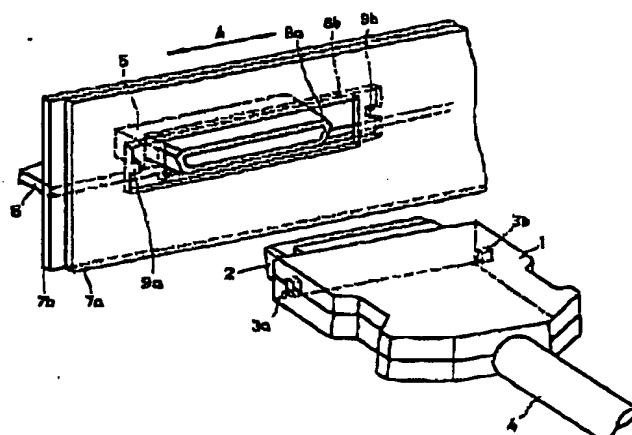
〔図1〕本考案の一実施例を示す斜視図である。

【図2】従来例を示す斜視圖である。

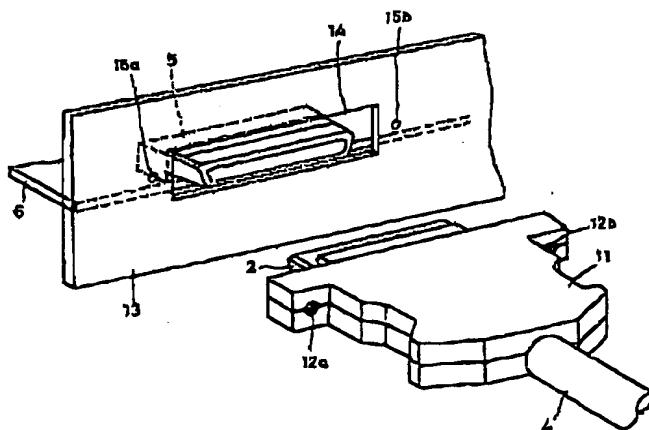
【新刊の紹介】

- 1 ケーブル用コネクタフード
 3a, 3b 依合穴
 7a, 7b コネクタ取付けパネル
 8a, 8b コネクタ端入口
 9a, 9b 突起部

四〇



[四2]



【考案の詳細な説明】

[0001]

【技術分野】

本号案はケーブル用コネクタフードの固定機構に関し、特に電子機器間を接続するインターフェースケーブルに使用されるケーブル用コネクタフードの固定機構に関する。

[0002]

【往来技术】

従来、この種のケーブル用コネクタフードの固定は、図2に示すように、インタフェースケーブル4の先端に取付けられたケーブル接続用コネクタ2をコネクタ取付けパネル13に設けたコネクタ挿入口14からプリント基板6に取付けられたI/Oコネクタ5に挿入し、ケーブル接続用コネクタ2とI/Oコネクタ5とを接続してから行われる。この後に、ケーブル用コネクタフード11に設けたネジ12a, 12bをコネクタ取付けパネル13に設けたネジ止め穴15a, 15bにネジ止めすることによって、ケーブル用コネクタフード11がコネクタ取付けパネル13に固定される。

[0003]

このような従来のケーブル用コネクタフードの固定方法では、ケーブル用コネクタフード11にネジ12a, 12bを設けているので、ケーブル用コネクタフード11の外形が大きくなり、取付けスペースを大きくとることとなり、高密度実装に適さないという問題がある。

[0004]

また、多くのケーブル用コネクタフード11を取付ける場合には、ケーブル用コネクタフード11を1つ1つネジ12a, 12bによってコネクタ取付けバネル13にネジ止めしなければならず、作業性が悪く、しかもドライバなどの工具を必要とするという問題がある。

[0005]

【考案の目的】

本考案は上記のような従来のものの問題点を除去すべくなされたもので、取付

けスペースを少なくして高密度実装を可能とすることができる、工具を不要とすることができるとともに、作業性を向上させることができるケーブル用コネクタフードの固定機構の提供を目的とする。

【0006】

【考案の構成】

本考案によるケーブル用コネクタフードの固定機構は、配線基板に設けられた入出力コネクタに挿入されて接続されるケーブル用コネクタを被覆するケーブル用コネクタフードの固定機構であって、各々前記ケーブル用コネクタの挿入口を有し、互いに摺動自在に重ね合せた第1および第2のパネルと、前記第1のパネルの前記挿入口の一辺に設けられた第1の突起部材と、前記第2のパネルの前記挿入口の前記一辺に対向する他辺に設けられた第2の突起部材と、前記入出力コネクタに接続された前記ケーブル用コネクタの前記ケーブル用コネクタフードの前記第1および第2の突起部材に対応する位置に設けられ、前記第1および第2のパネルの摺動によって夫々前記ケーブル用コネクタフード側に移動する前記第1および第2の突起部材各々を嵌合する第1および第2の嵌合穴とを有することを特徴とする。

【0007】

【実施例】

次に、本考案の一実施例について図面を参照して説明する。

【0008】

図1は本考案の一実施例を示す斜視図である。図において、ケーブル接続用コネクタ2はコネクタ取付けパネル7a, 7bに設けたコネクタ挿入口8a, 8bから挿入され、プリント基板に取付けられたI/Oコネクタ5に接続される。また、ケーブル接続用コネクタ2はケーブル用コネクタフード1によって固定されており、ケーブル用コネクタフード1内部でインタフェースケーブル4に接続されている。

【0009】

コネクタ取付けパネル7a, 7bは図示せぬ架台あるいは筐体に設けたレール(図示せず)によって左右方向(矢印Aの方向)にスライド可能に上下から扶持

されている。すなわち、コネクタ取付けパネル7a, 7bは互いに摺動可能なよう重ね合わされている。また、コネクタ取付けパネル7a, 7bには夫々ケーブル用コネクタフード1が挿入されるコネクタ挿入口8a, 8bが設けられており、コネクタ挿入口8a, 8bには互いに対向する位置に突起部9a, 9bが設けられている。ケーブル用コネクタフード1にはそれら突起部9a, 9bの設置位置に対応する位置に、突起部9a, 9bを夫々嵌合するための嵌合穴3a, 3bが設けられている。

{0010}

ケーブル用コネクタフード1をコネクタ押入口8a, 8bに挿入し、ケーブル接続用コネクタ2とI/Oコネクタ5とを接続した後に、コネクタ取付けパネル7a, 7bを互いに対向する方向にスライドさせる。これにより、コネクタ押入口8aの突起部9aがケーブル用コネクタフード1の嵌合穴3aに嵌合され、コネクタ押入口8bの突起部9bがケーブル用コネクタフード1の嵌合穴3bに嵌合される。

[0011]

この後に、コネクタ取付けパネル⑦a, ⑦bの左右両端に設けられたレバー（図示せず）などを倒してコネクタ取付けパネル⑦a, ⑦bがスライドしないよう固定することによって、ケーブル用コネクタフード1がコネクタ取付けパネル⑦a, ⑦bに固定される。

[0012]

このように、互いに摺動可能なように重ね合わされたコネクタ取付けパネル7 a, 7 bに夫々設けられたコネクタ押入口8 a, 8 bにケーブル用コネクタフード1を挿入してケーブル接続用コネクタ2と1／Oコネクタ5とを接続した後に、コネクタ取付けパネル7 a, 7 bを互いに対向する方向にスライドさせてコネクタ押入口8 a, 8 bの互いに対向する位置に設けた突起部9 a, 9 bを、ケーブル用コネクタフード1の突起部9 a, 9 bの設置位置に対応する位置に設けた嵌合穴3 a, 3 bに夫々嵌合するようにすることによって、ケーブル用コネクタフード1のコネクタ取付けパネル7 a, 7 bへの固定を容易に行うことができる。よって、ケーブル用コネクタフード1の固定作業の作業性を向上させることができる。

できる。

【0013】

また、ケーブル用コネクタフード1においては従来のようなネジの取付けが不要となるので、取付けスペースを少なくすることができます。コネクタの高密度実装を可能にすることができる。さらに、ネジの取付けが不要となることからドライバなどの工具が不要となり、ケーブル用コネクタフード1の固定作業の作業性を向上させることができる。

【0014】

尚、本考案の一実施例ではコネクタ取付けパネル7a, 7bを夫々左右方向にスライド可能としているが、上下方向にスライド可能としてもよい。また、コネクタ取付けパネル7a, 7bの左右両端に設けたレバーなどを倒してコネクタ取付けパネル7a, 7bがスライドしないように固定し、ケーブル用コネクタフード1をコネクタ取付けパネル7a, 7bに固定するようにしているが、他の方法によってコネクタ取付けパネル7a, 7bがスライドしないようにしてもよく、これらに限定されない。

【0015】

【考案の効果】

以上説明したように本考案によれば、各々ケーブル用コネクタの押入口を有する第1および第2のパネルを互いに摺動自在に重ね合せ、第1のパネルの押入口の一辺およびこの一片に対向する第2のパネルの押入口の他辺に夫々第1および第2の突起部材を設け、第1および第2のパネルを摺動させて第1および第2の突起部材各々を、ケーブル用コネクタフードの第1および第2の嵌合穴に嵌合してケーブル用コネクタフードを固定することによって、取付けスペースを少なくて高密度実装を可能とすることができます。工具を不要とすることができるとともに、作業性を向上させることができるという効果がある。